



# 伊藤まさひろ県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## 鹿島川・高崎川の浸水被害防止へ

# 印旛沼水位を事前低下

### 台風接近前に排水、機場運用見直し



12月県議会で登壇し、一般質問を行う伊藤昌弘県議

安心安全なふるさとづくりに力を注いでいる伊藤昌弘県議(佐倉市・印旛郡酒々井町、4期)は12月県議会で一般質問を行い、森田知事ら県執行部に防災対策などを質問しました。台風21号の豪雨で佐倉市では市内を流れる鹿島川、高崎川がいつ水し、大きな被害をもたらしましたが、伊藤県議は河川の氾濫を防ぐためには、前もって印旛沼の水位を下げておくことが必要として、県の考え方を聞きました。また、大規模停電で厳しい避難所暮らしが続いたのを踏まえ、避難所となる学校などにLPガス発電機を備えることを提言しました。

### 12月県議会一般質問

伊藤議員 台風21号の影響による豪雨は、印旛沼地域においても大量の降雨をもたらし、佐倉市では鹿島川や高崎川において、かつてない大規模な浸水被害が発生した。

印旛沼に流入する鹿島川や高崎川は、印旛沼の水位が高いとそれ以上、水を流すことができず、河川が

氾濫してしまう。まずは印旛沼の水位を下げるのが何より重要であると考えている。

そこでどうか、印旛沼の治水対策について、新たな取り組みは考えているのか。また今回の浸水被害を踏まえ、より綿密な対応が必要と思うがどうか。

知事 今回の大雨による印旛沼や流域河川の水位の

状況を踏まえ、鹿島川、高崎川における浸水被害を軽減するためには、印旛沼の水位を早く低下させることが有効であると考えているところでございます。

印旛沼の水位は、印旛機場など4つの機場と水門によつて管理されていることから、台風等の接近に備えて事前に印旛沼の水位を低

下させるための機場等の運用の見直しや、排水能力の増強に向けて、機場等の施設管理者や利水者を含む関係機関と調整を行ってまいります。

また、印旛沼から利根川を結ぶ長門川や東京湾に流れる印旛放水路について、引き続き河川整備を進め、印旛沼流域全体の治水安全度の向上に努めてまいります。

### 越水の高崎川上流部左岸護岸をかさ上げ

伊藤議員 鹿島川と高崎川の河川改修の進捗状況はどうか。

知事 鹿島川の整備については、西印旛沼から2.7キロメートルのうち、1.6キロメートルを完成し、今年度は、佐倉橋付近と高崎川合流部で、河道拡幅のための掘削を実施しております。

高崎川の整備については、鹿島川合流部から2.7キロメートルのうち、1.8キロメートルを完成し、今年度は樋之口橋付近の護岸工事を実施しております。

鹿島川、高崎川で発生した浸水被害については、浸水に至ったメカニズムの検証を行い、その対策を検討してまいります。

なお、住宅浸水被害のある高崎川上流部における

応急の対応として、護岸の高さが不足している楠木橋上流左岸0.3キロメートルにおいて、護岸を計画の高さまでかさ上げするとともに、河道内の樹木を伐採するなど、地元市と協議の上、対策を進めてまいります。

伊藤議員 印旛沼の予備排水の運用見直しについては、今までの運用よりもさらに踏み込んだ運用が必要。濁水リスクの心配は、関係団体利水権のある方たちの考え方も受け、今回の災害を受け、すぐに取り組んでいただくことが治水対策の一番の根底になると思っております。

高崎川上流左岸の堤防かさ上げは、早急に護岸のかさ上げを行っていただければ、より早くお願います。工事をやっていたら越水はなかった場所だ。この鹿島川と高崎川の河川改修事業について、今後

も速やかに推進するよう要望する。

### 伊藤まさひろ・PROFILE

#### 略歴

- 昭和30年 佐倉市に生まれる
- 昭和53年 日本大学法学部卒業
- 平成7年 佐倉市議会議員当選
- 平成11年 佐倉市議会議員再選
- 平成19年 千葉県議会議員当選
- 平成23年 千葉県議会議員再選
- 平成27年 千葉県議会議員3選
- 平成31年 千葉県議会議員4選

#### 現職

- 千葉県議会 農林水産常任委員会委員
- 日大習志野高校同窓会 会長
- 佐倉リトルシニア野球協会 会長

●県政や佐倉市のまちづくりに関する悩みごと、気軽にご相談下さい!!

## 伊藤まさひろ 県議事務所

〒285-0811 佐倉市表町3-6-28  
TEL.043-485-8019  
FAX.043-486-1616

HPもご覧下さい... [検索](#) [ちば自民党](#) [議員リスト](#) [県議会議員](#) [佐倉市](#)



# 大規模停電で苦しい避難所生活

# LPガス発電機の備えを

伊藤議員 台風15号によって大規模な停電が発生した。被災された方々は各地の避難所での生活を余儀なくされたが、その避難所が明かりもつかない、空調もない、携帯電話も充電できないという大変厳しい状況の中での避難所生活を強いられた。

そこでどうか、避難所に指定されている学校や公共施設にLPガス発電機等の施設を整備すべきと考えるがどうか。

防災危機管理部長 避難所においては、停電が起きた場合に備え、非常用電源をあらかじめ確保することが重要であり、灯油

LPガスなどの非常用燃料についても確保する必要があります。

LPガスは供給途絶が少なく、復旧が早いことなど、災害にも強い特性を有

## 伊藤まさひろ県議会レポート



県の答弁に対して、施策への要望を行う伊藤県議

しており、今回の災害においてもLPガス発電機を活用した入浴支援などが県内被災地で実施されたところです。

県では、地域防災力向上

総合支援補助金により、市町村が行う非常用電源

## 決算審査特別委員会 伊藤委員長が審査報告

千葉県は平成30年度一般会計及び特別会計の決算を審査する決算審査特別委員会は令和元年10月に設置されて以来、伊藤昌弘委員長の差配のもと、これまで県の各部署、県教育庁、県企業局の決算を審査してきました。

慎重な審議の結果、これを認定すべきとして、12月20日の県議会閉会日で伊藤委員長が委員会審査報告をし、認定されました。

整備について支援を行うとともに、LPガスを用いた自家発電設備に係る国の補助事業の拡充や要件緩和を要望するなど、今後引き続き、災害に強い燃料による避難所の電源確保を促してまいります。

伊藤議員 今後も発生が予測される大型台風や豪雨、更には地震による災害で被害を受けた被災者が避難生活を送るのが避難所であり、避難所の機能強化は早急に取り組むべき課題である。

災害に強い千葉県となるよう積極的な取り組みを要望する。

## 県道宗吾酒々井線の酒々井町酒々井地先通学路の歩道整備

伊藤議員 県道宗吾酒々井線酒々井町酒々井地先における歩道整備の進捗状況はどうか。

県土整備部長 県道宗吾酒々井線の酒々井地先においては、小学校の通学路となっており、歩道が未整備で路肩も狭いことから、歩行者の安全を確保するため、延長800mの区間で歩道整備を行っております。

# コメ新品種「粒すけ」 2700トンの生産見込み 来年

伊藤議員 コメの新品種「粒すけ」の来年の生産に向けた種子の確保状況と令和2年の生産予定数量はどうか。

農林水産部長 「粒すけ」については、来年生産を見込んでいた200トンの作付けに不足が生じないよう、

また、気象災害や病害の発生による減収も見込んで種子の生産に取り組んだ結果、冷害や台風などの被害をほとんど受けなかったこともあり、計画量を大きく上回る500トンの生産が可能な種子を確保することができました。

### 再質問

伊藤議員 来年の生産に向けての種子の予約状況はどうか。

今後この種子を、令和2年に「粒すけ」の生産を希望する農家に配付することとなりますが、生産数量については、2700トンを見込んでいます。

### 要望

伊藤議員 「粒すけ」が魅力的な米となるよう、デビューまでの残り9か月間の積極的な取り組みを要望する。

# カミツキガメ捕獲 3年間で5千頭超

伊藤議員 特定外来生物カミツキガメの戦術集中実施期における捕獲状況はどうか。また、今後の根絶に向けた取り組みはどうか。

環境生活部長 県では、平成29年度から、カミツキガメの捕獲を集中的に進めており、カメが特に活動的になる6月、7月にワナの数を増やし、また水深の浅いところでもワナが使用できるように改良したほか、捕獲の範囲を広げるなど、様々な取り組みを行ってきました。

## 佐倉印西線神門交差点改良工事に着手

伊藤議員 県道佐倉印西線佐倉市神門交差点改良の進捗状況はどうか。

県土整備部長 県道佐倉印西線が国道51号と交差する佐倉市の神門交差点では、歩行者の安全と円滑な交通を確保するため、延長224mの区間で右折レーンの設置と歩道の整備を実施しております。

引き続き、地元の皆様のご理解とご協力をいただきながら、残る用地の取得を進め、令和3年度の完成を目指し、事業を進めてまいります。

## 富里酒々井線墨工区 残る区間用地取得へ

伊藤議員 県道富里酒々井線墨工区

井線墨工区の進捗状況はどうか。

県土整備部長 県道富里酒々井線の酒々井町墨地先において、狭隘力所を解消し、円滑な交通と歩行者の安全を確保するため、1.7kmの現道拡幅事業を進めてまいります。

これまでに、東関東道に架かる古沢橋から、国道296号側の1.5kmについて供用しています。

現在、残る0.7km区間の用地取得を進めており、まとまった用地が取得できた方所から、道路改良工事を行ってまいります。

伊藤議員 県道宗吾酒々井線酒々井町酒々井地先においては、小学校の通学路となっており、歩道が未整備で路肩も狭いことから、歩行者の安全を確保するため、延長800mの区間で歩道整備を行っております。

平成28年度から用地取得に着手し、現在、その取得率は約16%であり、今年度は、引き続き、用地取得と取得に必要な物件調査を実施しているところでございます。

来年度は、まとまった用地が取得できた区間から工事に着手する予定です。